

アレルギー物質を含む食品の検査結果

平成13年4月、食物アレルギーを持つ人の健康危害を未然に防止する観点から、アレルギー物質(特定原材料)を含む食品に表示が義務付けられました。現在、特定原材料として卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かにの7品目が指定されています。

今年度は6月及び10月に、食物アレルギーがある人のために製造された食品や、特定原材料の表示がない食品を対象として、健康福祉局食品専門監視班が市内の小売店で収去及び通信販売で買上し、当所にて乳、落花生、小麦の検査を行いました。その検査結果を報告します。

1 乳の検査

菓子類(焼菓子、ドーナッツ等)やレトルト食品など16検体について、乳の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング試験の結果、いずれも陰性(10ppm未満)でした(表1)。

表1 乳の検査結果 (スクリーニング試験)

食品	検体数	陽性数
菓子類(焼菓子、ドーナッツ等)	4	0
レトルト食品	3	0
パン	2	0
麺類	2	0
そうざい	2	0
その他	3	0
合計	16	0

2 落花生の検査

中華菓子8検体について、落花生の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング試験の結果、いずれも陰性(10ppm未満)でした(表2)。

表2 落花生の検査結果 (スクリーニング試験)

食品	検体数	陽性数
中華菓子	8	0

3 小麦の検査

菓子類(焼菓子、せんべい等)やレトルト食品など40検体について、小麦の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング試験の結果、焼菓子(オーツクッキー)1検体については陽性(10ppm以上)でしたが、それ以外はすべて陰性(10ppm未満)でした(表3)。

スクリーニング試験で陽性となったオーツクッキー1検体についてPCR法による確認試験を行ったところ、結果は陰性でした。小麦のスクリーニング試験に用いたELISAキットは、小麦以外の穀類(あわ、ひえ、オーツ麦等)で交差性があり、オーツ麦では10ppm以上の数値を示すことが知られています。このオーツクッキーについて、食品専門監視班が製造所を管轄する自治体に依頼して、小麦使用の有無等を確認しました。その結果、小麦の使用は認められませんでした。以上のことから、オーツクッキーについては偽陽性の可能性が高いと考えられました。

表3 小麦の検査結果

食品	スクリーニング試験		確認試験	
	検体数	陽性数	検体数	陽性数
菓子類(焼菓子、せんべい等)	18	1	1	0
レトルト食品	11	0		
パン	2	0		
麺類	2	0		
そうざい	2	0		
その他	5	0		
合計	40	1	1	0

【 食品添加物担当 】